

—伊勢湾の砂・三河湾の砂—

<須藤 定久・藤橋 葉子>

日本列島の中央部に位置する伊勢湾・三河湾の砂を集めてみた。西南日本の内帯と外帯にまたがるこの地区には、どんな砂が見られるのだろうか？

砂の採取位置を右図の①～⑬に示し、それぞれの画像（横1.6cm，縦1cm）を示した。背後の地質も参考に、また本文37-49ページもあわせてご覧下さい。

「伊勢路の海浜砂」



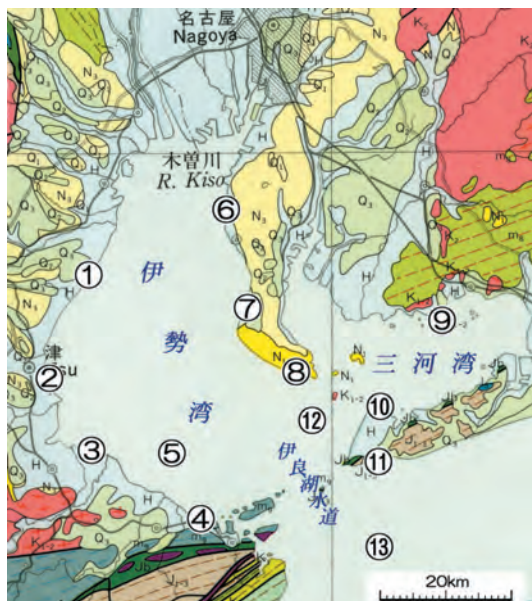
①鈴鹿市鼓ヶ浦：白砂青松100選の1つ。中粒の花崗岩起源の白～淡褐色の砂からなります。



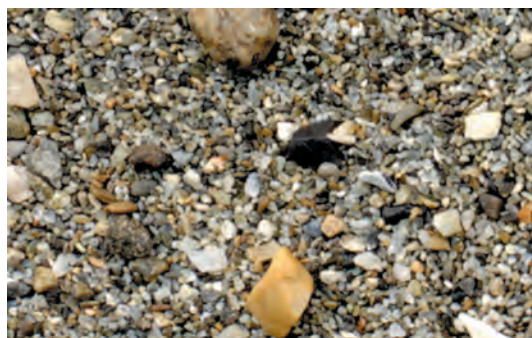
②津市阿漕浦：古い歴史と伝説の浜。中～粗粒の花崗岩起源の砂。白～淡褐色で角張った粒子が多い。



③松坂市松名瀬：潮干狩りや海水浴で有名。極粗粒の褐灰色の砂で、結晶片岩・石英・長石・頁岩などからなる。



砂の採取位置図（100万分の1日本地質図（地質調査所，1992）の一部）凡例は省略。



④伊勢市二見海岸：日本で最初の海水浴場と言われる。灰色の中粒砂に細礫が少量混じる。



⑤伊勢市沖の海砂：砂岩や頁岩片の多い灰色の極粗粒砂。粒子には斑点状に泥が付いている。

「知多半島の砂」



⑥常滑市蒲池海岸：半島北部に残された自然海岸。石英粒子が多い白砂に、チャート礫が混じる。



⑦美浜町・野間海岸：新第三系に由来する、石英粒子の多い白砂は、かつては珪砂として使われた。



⑧師崎西海岸：新第三紀層からなる礫の砂礫。円磨された砂礫に貝殻片が混じる。

「伊良湖沖の海砂」



⑫三河湾口の砂：石英や長石が多い白～淡褐色の細粒砂。泥分や貝殻片に富む部分も多いようだ。

「三河湾・渥美半島の海浜砂」



⑨蒲郡市・西浦海岸：小さな岬の脇にある小海浜。円磨された石英や花崗岩の砂礫・貝殻片からなる。投入された砂？



⑩渥美・立馬岬：砂州の先端にある浜。砂岩・頁岩・チャートなどの良く円磨された砂礫からなる。



⑪伊良湖・恋路が浜：渚100選・白砂青松100選の1つ。砂岩・頁岩・チャート・石英などの砂礫。



⑬伊良湖水道の砂：潮流に洗われる砂岩・頁岩・チャート・石英などからなる砂礫である。